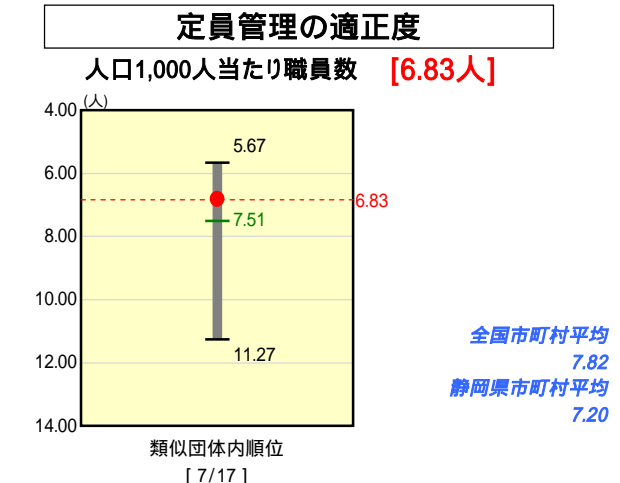
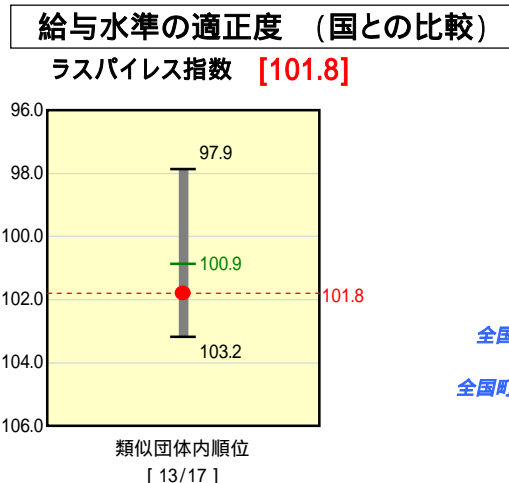
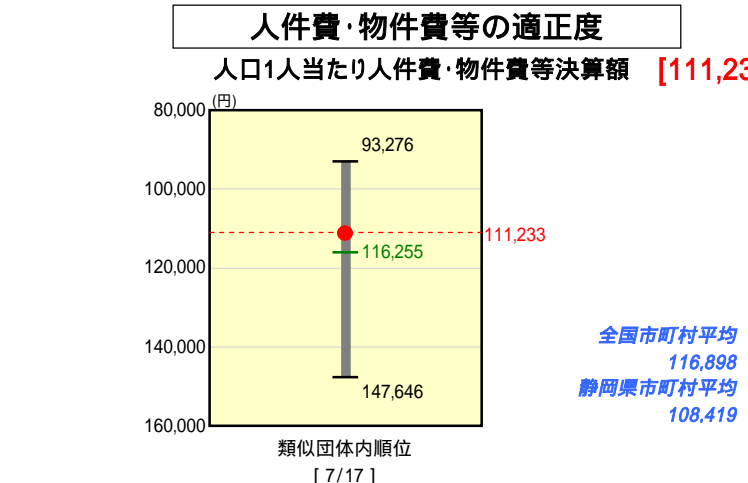
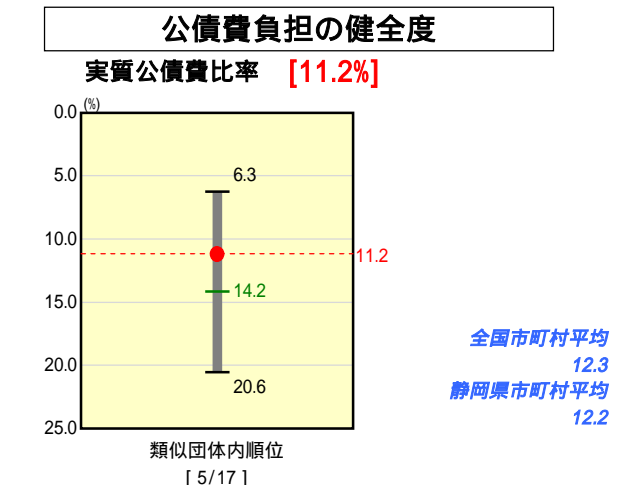
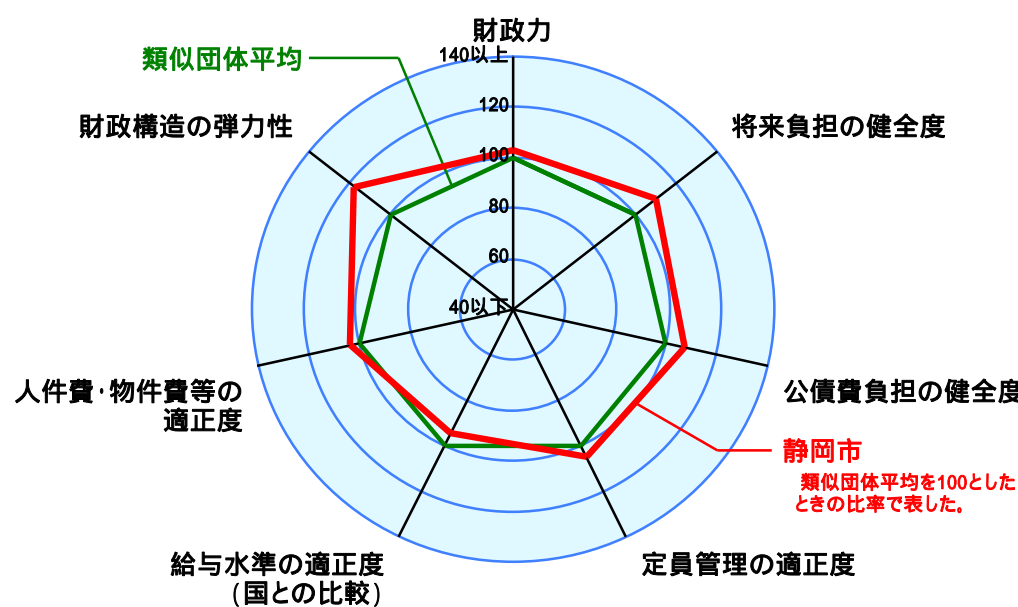
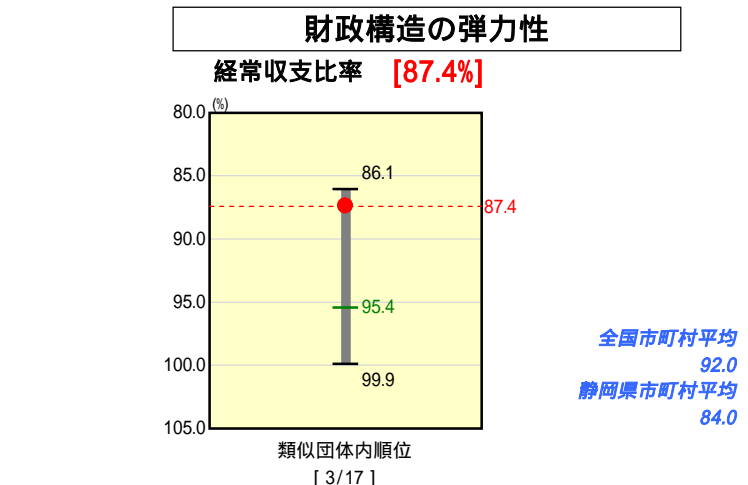
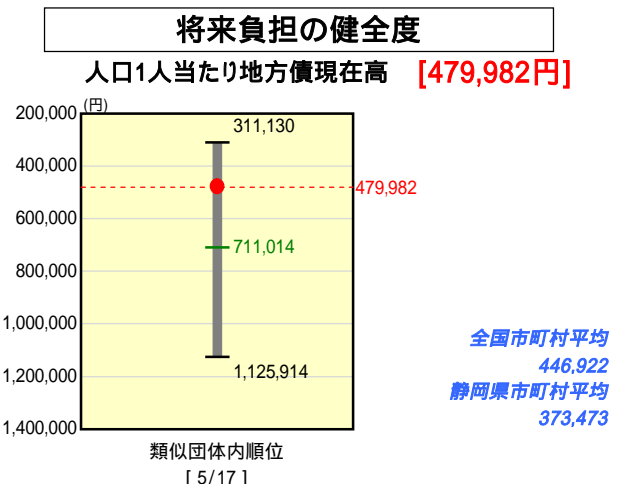
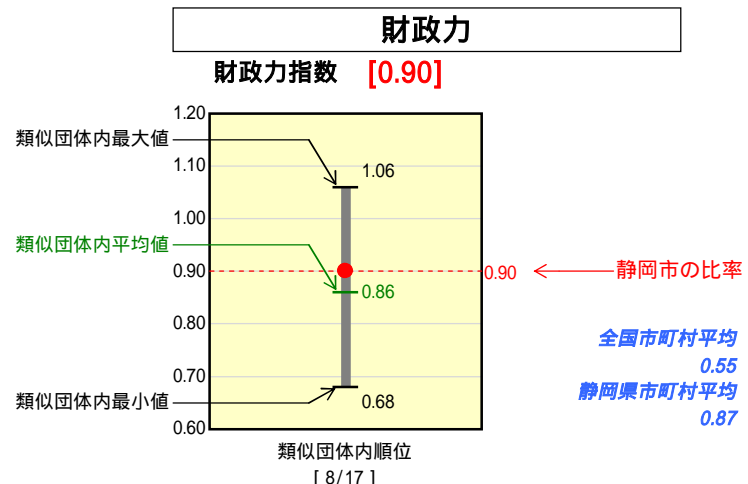


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

静岡県 静岡市

人口	710,854 人	(H20.3.31現在)
面積	1,388.78	km ²
歳入総額	273,815,559	千円
歳出総額	265,235,289	千円
実質収支	5,313,589	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
前年に比べ0.02ポイント上昇し、類似団体平均値を上回っているが、今後も静岡市債権管理計画に基づいて、市税等の収納率向上による財源確保を図り、安定的な財政基盤の維持に努めていく。

【経常収支比率】
前年に比べ3.9ポイント上昇している。分母である経常一般財源が地方譲与税及び地方交付税の減により減少したことや分子である経常経費充当一般財源が公債費などの増により増加したことが主な要因である。今後も、公債費の増加が見込まれるため、事務事業の再編・整理などによる歳出の合理化等行財政改革を推進し、経常的な事務事業に要する経費の抑制に努めていく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均を下回っているが、今後も静岡市行財政改革推進実施計画による事務事業の再編・整理、民間委託の推進、指定管理者制度の活用等により、経費の削減に努める。

【ラスパイレス指数】
類似団体平均を上回っている。平成19年度は、年功的な給与上昇を抑制し、職務・職責に応じた給料構造への転換などを目的とする給与構造改革を実施し、職員の給料水準を引き下げた。今後も地域の民間企業の給与水準を正確に反映し、給与の適正化に努めていく。

【人口1人当たり地方債現在高】
類似団体平均を下回っているが、前年に比べ増加しているため、今後も第1次静岡市総合計画及び静岡市行財政改革推進実施計画に基づき、必要な事業を精査し適切に推進していく。

【実質公債費比率】
類似団体平均を下回っているが、今後も事業の優先度を十分吟味するとともに、有利な財源の確保に努めていく。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均を下回っている。今後も平成17年4月1日から平成22年4月1日までの5年間で職員数（全会計ベース）を6.2%(420人)削減することを目標とする定員管理計画に沿って、定員の適正化を進めていく。